

講義科目名称： 助産診断・技術学演習Ⅴ（ハイリスク妊産婦 授業コード： 6630301100  
婦・新生児）

英文科目名称： Practice in Midwifery Diagnosis and SkillsⅤ(High  
risk Perinatal women & Newborn)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子、大山良雄、山口玲、平川隆史、北原慈和、遠藤姿乃、戸崎紗弥香、竹内崇、阿部祥子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間				
	【担当教員】					
	【氏名】 ◎常盤 洋子 大山 良雄 山口 玲 平川 隆史 北原 慈和 遠藤 姿乃 戸崎 紗弥香 竹内 崇 神行動医科学 阿部 祥子	【所属】 新潟県立看護大学 群馬大学大学院保健学研究科 群馬大学大学院医学系研究科 同上 同上 群馬大学医学部附属病院 足利赤十字病院 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 千葉市立海浜病院	【研究室】 320	【メールアドレス】 yotokiwa@niigata-cn.ac.jp		
	【本学の科目区分】 専門科目					
	【D P 1】 ○	【D P 2】 ◎	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○	【D P 5】 ◎	【D P 6】 ◎

到達目標	1. 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期における正常からの逸脱および異常を説明できる。 2. 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期における臨床推論に活用するガイドラインや看護モデルを説明できる。 3. 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期の異常を予測する助産診断の技法を説明できる。 4. 身体的ハイリスクな状態にある妊産婦及び新生児の助産診断と支援を説明できる。 5. 心理的・社会的ハイリスクな状態にある妊産婦及び新生児の助産診断と支援を説明できる
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期における正常からの逸脱を診断し、異常を予測する臨床推論能力を高める。また、身体的・心理的・社会的にハイリスクな状態にある妊産婦および新生児の支援に必要な諸技法を修得し、増加するハイリスク妊産婦および新生児に対応できる能力を身につける。
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：周産期におけるハイリスクの母子とその家族への援助 学修内容：周産期における母子とその家族への援助－危機理論、ストレスコーピング理論を活用した援助－ 備考：常盤 2 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：糖尿病合併妊娠のフィジカルアセスメントとケア 学修内容：糖尿病合併妊娠と妊娠糖尿病の病態生理 備考：大山 3 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：糖尿病合併妊娠のフィジカルアセスメントとケア 学修内容：妊娠中の糖代謝異常と診断・治療 備考：大山 4 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：脳血管疾患を合併した妊婦・褥婦の臨床とケア 学修内容：脳血管疾患を合併した妊婦・褥婦のフィジカルアセスメントとケア(1) 備考：山口 5 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：婦人科がんを合併した妊婦・褥婦の臨床とケア 学修内容：婦人科がんを合併した妊婦・褥婦のフィジカルアセスメントとケア(2) 備考：平川 6 授業内容

	<p>授業形態：遠隔授業 学修課題：不妊治療の流れと妊孕性の温存(1) 学修内容：生殖内分泌の基本 備考：北原</p> <p>7 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：不妊治療の流れと妊孕性の温存(2) 学修内容：不妊治療と妊孕性の温存 備考：北原</p> <p>8 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：不育症・不妊治療と助産ケア 学修内容：不育症・不妊治療を受けて妊娠・出産した女性への援助 備考：遠藤</p> <p>9 授業内容 授業形態：講義 学修課題：妊娠期・分娩期・産褥期の異常における助産診断と助産ケア 学修内容：妊娠期・分娩期・産褥期のハイリスク母子における助産診断と助産ケア(1) 備考：戸崎</p> <p>10 授業内容 授業形態：講義 学修課題：妊娠期・分娩期・産褥期の異常における助産診断と助産ケア 学修内容：妊娠期・分娩期・産褥期のハイリスク母子における助産診断と助産ケア(2) 備考：戸崎</p> <p>11 授業内容 授業形態：講義 学修課題：心理的ハイリスク状態にある母子とその家族に対する助産ケア 学修内容：出産体験の意味づけの支援、ペリネイタル・ロスにおけるメンタルヘルス・ケア 備考：常盤</p> <p>12 授業内容 授業形態：講義 学修課題：ドメスティックバイオレンスに関する女性の健康問題と援助 学修内容：ドメスティックバイオレンスに関するアセスメントと助産ケア 備考：常盤</p> <p>13 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：妊娠・出産に伴う精神障害の臨床＜診断と治療＞ 学修内容：パニック障害、産後うつ、統合失調症、産後精神病 備考：竹内</p> <p>14 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：希死念慮を抱いている妊婦・褥婦の臨床推論とケア 学修内容：希死念慮を抱いている妊婦・褥婦のアセスメントとケア 備考：竹内</p> <p>15 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：社会的ハイリスク状態にある母子とその家族への援助 学修内容：社会的ハイリスク状態にある母子とその家族のアセスメントと助産ケア 備考：阿部</p>
事前・事後学習	<p>事前学修：シラバスを確認し授業内容にかかわるガイドラインや看護モデルを調べる 事後学修：自主的に授業内容にかかわる文献を読み、身体的・心理的・社会的にハイリスクな状態にある妊産褥婦及び新生児に支援について考察する。</p>
評価方法、評価基準	到達目標 1～5 に対して、レポート課題80%、プレゼンテーション・討議への参加20%により評価する。
テキスト	<p>【必携図書】 小林康江（編）（2024）：助産師基礎教育テキスト2024年度版 第7巻．ハイリスク妊産褥婦・新生児ケア，日本看護協会出版会． 井上裕美・他（2018）：病気がみえる vol.10 産科 第4版．メディックメディア． 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会（2024）：産婦人科診療ガイドライン産科編2023，日本産科婦人科学会．</p>
参考図書・資料等	<p>我部山キヨ子・菅原ますみ（2023）：助産学講座 4 基礎助産学[4]．母子の心理・社会学，医学書院． 荒木勉（2012）：最新産科学（異常編）改訂第22版，文光堂．</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡する。 プレゼンテーション資料は人数分コピーし、授業前に配布する。 プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。 課題が提示される授業については学生が主体となってプレゼンテーション、討論をすること</p>
教員からのメッセージ	本科目は助産師国家試験受験資格に関わる科目であること、助産学実習前提科目であることを念頭において授業に臨むことを期待する。
オフィスアワー	随時対応（メール調整）。